

日本脊椎脊髄病学会 平成 25 年度第 1 回国際委員会議事録

平成 25 年 4 月 25 日（木） 7 時～8 時

場所：ラグナガーデンホテル 明海の間

出席：松山幸弘理事、湯川泰紹委員長、川原範夫、小西宏昭、田中雅人、豊根知明、根尾昌志、長谷川和宏、矢吹省司 各委員、富士武史、岩崎幹季、岩波明生各アドバイザー
欠席：金山雅弘委員

新規参加：山田 宏アドバイザー（和歌山医大）

1、Asia Travelling Fellowship 企業寄付実績

過去の企業からの寄付実績を確認し、国際委員会の財政基盤安定のため、理事、委員、アドバイザー全員から今後の寄付の継続依頼と新規の企業への働きかけをさらに積極的に行うこととした。

2、平成 25 年度フェロー組み分けと訪問先

平成 25 年度 ATF は 21 名の応募があり、業績と臨床経験を加味して 12 名を選考し、AVS は 1 名をそれぞれ決定した。

AVF（グループ分けと訪問予定国）

- 1、酒井紀典（徳島大学）伊藤圭吾（中部労災病院） 韓国・ベトナム
- 2、亀井直輔（広島大学）相庭温臣（沼津市立病院） シンガポール・台湾
- 3、出村 諭（金沢大学）吉田 剛（浜松医療センター） インド・タイ
- 4、平林洋樹（信州大学）鈴木伸幸（名古屋市立大学） 香港・韓国
- 5、赤澤 努（聖隷佐倉市民病院）安藤 圭（名古屋大学） 台湾・インドネシア
- 6、土井俊郎（九州大学病院別府病院）細金直文（慶應義塾大学） 中国・タイ

AVS

- 1、富士武史（大阪厚生年金病院） インドネシア・他

3、平成 25 年度寄付金募集要項の確認

4、フェロー修了証

新規に発行するフェロー修了証の形式、文面の確認を行い、準備できしだい平成 24 年度フェローから発送する。

5、今後のフェロー選考について

- A) 研究業績ばかりに偏らず、臨床実績も加味して選考する。
- イ) JSSR での過去 5 年の発表数も重視する。手術執刀数を追加する。

ウ) 選考時、自分のアピールポイントを 100 - 200 字程度にまとめてもらう。

6、海外からの招待者への対応

海外からの招待者に今回は発表の機会を設けたが、今後は余裕があれば観光などおもてなしも提供することを考える。今回は手始めに台湾からの Dr. Tzai Chiu Yu に 4 月 27 日に観光設定。(観光タクシー利用予定)

7、次期学会への依頼

English poster session を開始したがまだまだ英語のセッションが少なく、海外からの参加者の居場所がない。英語セッションもしくは最低限英語スライドのセッションを 1 日連続するか、2 日間午前中設定してもらえるよう、次期主管大学の和歌山医大に要請していく。

8、平成 25 年度フェローとの面談

一言ずつご挨拶をいただいた。

9、今後の委員会日程

次回は 5/24 (金) 7:00 ~ (日本整形外科学会学術集会期間中) の予定である。